

令和元年第9回

島田市教育委員会定例会

令和元年9月26日

令和元年第9回島田市教育委員会定例会日程

日時：令和元年9月26日（木）午後2時00分～

会場：島田市役所第3委員会室 南（4階）

1. 開 会
2. 会期及び会議時間の決定
3. 会議録署名人の指名
4. 教育部長報告
5. 事務事業報告
 - (1) 教育総務課 (2) 学校教育課 (3) 学校給食課 (4) 社会教育課
 - (5) 博物館課 (6) スポーツ振興課 (7) 図書館課
6. 付議事項
7. 協議事項
 - (1) 今後の総合教育会議の検討課題について
8. 次回教育委員会定例会における協議事項の集約について
 - (1) 事務局から提案するもの
 - (2) 各委員が提案するもの
9. 報告事項
 - (1) 教育委員会に関する事務の点検・評価について
 - (2) 令和元年8月分の寄附受納について
 - (3) 令和元年8月分の生徒指導について
 - (4) 明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会の開催について
 - (5) 島田市芸術文化奨励賞交付要綱の一部改正について
10. その他
 - ・会議日程について
 - 次回 第10回島田市教育委員会定例会
 - 日時 令和元年10月29日（火）午後2時00分～午後4時00分
 - 会場 島田市役所 会議棟D会議室（2階）
 - 次々回 第11回島田市教育委員会定例会
 - 日時 令和元年11月 日（ ）午 時00分～午 時00分
 - 会場
11. 閉 会

教育部長報告

一 般 質 問 (令和元年9月市議会定例会)

2. 3番 河村晴夫 議員 (一問一答)

1. 島田市立小中学校再編計画(案)について

全国的に少子化が進む中、当市における児童生徒数も年々減少し、1学年1学級や複式学級が存在している。

昨年から、当市でも学校再編計画により、伊太小学校、相賀小学校、神座小学校、伊久美小学校と島田第一小学校との統合や初倉地区小学校の統合の話し合いがもたれ、ことしの7月に配布された島田市立小中学校再編計画(案)で統合の時期等が公表された。

これによると、令和3年4月に北中学校と島田第一中学校の統合、湯日小学校と初倉小学校の統合、令和6年4月には伊太小学校、相賀小学校、神座小学校、伊久美小学校と島田第一小学校の統合とある。

そこで、北中学校と島田第一中学校統合について、以下質問する。

<質 問>

(1) 令和3年4月の統合は、北部地区小学校の統合より早い。どのような経緯でこの結果となったか。

<答 弁>

北中学校と島田第一中学校の統合時期につきましては、島田市教育環境適正化検討委員会から平成30年9月20日に提出された提言書における再編方針案で、「できるだけ早い時期に両校を統合することが望ましい」と明記されていました。

教育委員会では、平成30年10月18日に開催した総合教育会議を経て、教育委員会10月定例会において同提言を尊重しながら学校再編計画の策定を進めることを決議しました。

再編時期を考える上で最も重視したのは、子供たちの精神的不安を軽減するために、統合に向けた学校間の交流期間を最低でも1年は確保することでした。

加えて、中学校においては、令和3年度からアクティブラーニングやプログラミング教育といった新学習指導要領が全面実施となりますので、各校別々のカリキュラムでスタートしてから統合するよりは影響を抑えることができます。

こうした状況を踏まえ、令和3年4月が最短で最も適した時期という判断に至りました。

<質 問>

(2) 中間アンケートで伊久美小学校は、ほかの3校と違い、要再編51.5%、再編不要30.3%であったが、この結果をどのように考え対応したか。

<答 弁>

伊久美小学校は、他3校と比べて最も児童数の少ない学校であるため、アンケート結果では、保護者一人の全体に占める割合が大きなものとなります。

特に、小規模特認校制度を利用されている保護者の皆様は、意見交換会やアンケート調査で制度の存続を強く望んでいました。教育委員会としましては、その思いを受け止め、特認校制度を他校に変更し、継続することとしました。

<質 問>

(3) アンケートの実施時期の対象者と現在の対象者では、考え方にも違いがあると思うが、どのように考えているか。

<答 弁>

学校再編に関するアンケートにつきましては、統合時の学年等によって条件が異なるため、考え方や御意見も大きく変わってきます。教育委員会としては、学校再編は市全体の課題と捉えており、児童・生徒はもとより未就学児も当事者と考え、総合的に判断しています。

しかしながら、実際に統合で学校を移る児童・生徒や保護者が、大きな不安を持たれていることは事実です。そうした不安を軽減し、期待を持っていただけますよう、今後もカリキュラム等検討委員会で継続的に御意見を伺い、必要な対策を講じていきたいと考えております。

<質 問>

(4) 中学校の在籍は3年間であり、その期間内だと現在の1年生は在学中に学校の統合がある。対象者の精神的な配慮をしているのか疑問となるが、どのように考えているか。

① 統合に伴う通学方法は、どのように考えているか。

<答 弁>

統合に伴い遠距離通学となる生徒については、スクールバスや自転車による通学を予定しています。

<質 問>

② 環境の変化(制服、友達関係、校風の違い、北中を卒業できない精神的不安、学力、進学等)を、どのように考えているか。

<答 弁>

環境の変化による負担を軽減するため、統合前から学校間での交流を進めたり、統合後に北中学校の教員を島田第一中学校に配置したりするとともに、北中学校の生徒に配慮したクラス編成を行います。

また、統合時に中学3年になる生徒の制服については、統合後に使用する制服を貸与します。統合時に中学2年になる生徒については統合後に使用する制服を購入していただく予定としています。

③ 部活動における3年生最後の夏の大会をどのように考えているか。

<答 弁>

部活動について中体連などの大会は、統合後の令和3年度は合同または別々で出場できることを確認しておりますので、生徒または保護者の希望により、決めていきたいと考えております。

<質 問>

④ 子供を中心とした、子供最優先の統合であるならば、どのような内容が子供最優先と言えるか。

<答 弁>

統合問題では必ず地域の活性化を優先すべきとの意見が出されますが、教育環境適正化検討委員会では、変化の激しい社会で生活する子供たちのためには、クラス替えが出来る人数や部活動の選択肢が増える規模を確保し、切磋琢磨の場や多様な考えに触れることのできる適正規模にすることを優先すべきとされました。

この考え方が、学校再編に向けた基本的な方針となります。方針では、小学校と中学校の適正規模を具体的に示す一方で、長期的には夢育・地育の推進、小中一貫教育

等を進め、島田市の教育の特色づくりを可能とする教育環境を整備していくこととしました。

<質 問>

⑤ 湯日小学校の統合と比較すると、保護者、当事者への説明の期間や統合までの期間が短いのではないか。

<答 弁>

初倉地区の学校再編につきましては、平成31年3月28日に開催した意見交換会まで、湯日小学校、初倉小学校、初倉南小学校を令和4年4月に3校同時統合するという事務局案を提示してきました。

このため、湯日小学校と初倉小学校を令和3年4月に統合するという学校再編計画(案)をお示ししたのは、令和元年5月28日に開催した初倉地区全体説明会が最初です。したがって、平成31年3月26日に開催した北部地区意見交換会に比べて、統合時期をお示しできたのは湯日小学校の方が遅かったといえます。

いずれにせよ、どちらも統合まで残り1年半という短い期間となりますので、統合して良かったとだけ思っただけですよう、全力を尽くしていきます。

5. 4番 齊藤和人 議員 (一問一答)

1. 当市の公共施設マネジメント、縮充について

日本の人口は、総務省統計局の人口推計によれば、今から約300年前の江戸時代、享保年間(1716～1736年)から明治維新(1868年)までは約3,100～3,300万人で、150年間は安定期であった。その後の150年間で約1億人が増え、2008年にピークを迎え、1億2,808万人となった。ところが、2060年には8,674万人(中位推計)、高齢化率は39.9%、2100年には4,959万人(中位推計)、高齢化率は41.1%となると予想されている。当市の人口は2060年の国立社会保障・人口問題研究所の推計で約6万人であるが、目標を8万人とし、公共施設の縮減目標を20%減としている。これからのまちづくりを縮充という考え方で進められていくものと理解している。当然のこととして公共施設だけでなく、職員の業務についても同様であると考えている。そこで、以下伺う。

<質 問>

(2) 小・中学校の学区の再編が進められようとしている。統合された後、閉校となった施設の利活用をどのように考えているか。

<答 弁>

計画の中にも記載していますが、副市長を中心として島田市役所全体で「学校施設跡地利活用検討委員会」が組織されており、今後、地域づくりの観点などを踏まえ検討してまいります。

その際には、総合計画や都市計画マスタープランとの整合を図りながら、公共施設マネジメントの取組も視野に入れ、協議してまいります。

6. 6番 横山香理 議員 (一問一答)

1. 子供を取り巻くスマートフォンの現状について

現在、私たちの日常においてスマートフォンは必需品となっている。便利な反面、課金トラブル、出会い系サイトでのトラブル、ネットいじめ、不適切情報の発信による炎上、

ネット依存などさまざまな大きな問題も発生し、社会問題にもなっている。子供にスマートフォンを使わせるのであれば、私は何よりも使い始めが肝心であると考えている。子供が安全に正しく使用するためには、保護者が正しい知識を得ることも重要であると考えている。スマートフォンと日常をともにする時代、子供たちがスマートフォンとどのように向き合っていけばよいか、これは避けられない重要な問題であると考え、以下質問する。

<質 問>

(1) 当市において、小・中学生のスマートフォンの保有率を把握しているか。把握しているならば、現在の状況を伺う。

<答 弁>

市全体としては把握していませんが、独自に学校が実施している調査の結果から推測すると、小学生ではスマートフォン保有率が約3割、中学生では、約7割となっています。

<質 問>

(2) 当市において、現在、スマートフォンにかかわる小・中学生のトラブルはあるか。

<答 弁>

SNS上での誹謗中傷やグループ外し、SNSに投稿した画像に対する悪口や画像の拡散、通信ゲームでの課金トラブルなどが報告されています。

また、個人情報や安易にSNSに載せてしまうなど、情報モラルや危険性への認知が低い現状も見受けられます。

<質 問>

(3) スマートフォンの使用に関する啓発については、既に各小・中学校で行われているが、どのようにして行われているか。

<答 弁>

道徳などで情報モラル教育を行ったり、児童・生徒や保護者を対象に警察などの外部講師を招いたスマホケータイ講座を行ったりしています。

また、夏休み等の長期休業前にも全校指導を行い、ネットトラブルに子どもが巻き込まれないように注意喚起をしています。

<質 問>

(4) 現在、スマートフォンを使用する低年齢化が問題視されている。小学校低学年、あるいは乳幼児期の保護者に向けて啓発の場はあるか。

<答 弁>

小学校低学年の親については、家庭教育学級において、スマートフォンのルールについて意見交換する場を設けています。

乳幼児の親については、初めて0歳児をもつ親の講座でリーフレットを配付し、親子のふれ合いの重要性を啓発するほか、未就学児の子を持つ父親を対象とした講座では、スマートフォンとの上手な関わり方について、講義や参加者同士の意見交換を行っています。

このほか、母子手帳交付時に、親子の触れ合いやメディアとの関わり方について記載した資料を妊婦に配付し、乳幼児相談や健診で、保健師がスマホ使用時の注意事項や子どもへの影響について説明・指導しています。

加えて、地域子育て支援センターでは「赤ちゃん講座」において、「テレビとスマホの上手な付き合い方5か条」等のリーフレットを配付し、各家庭でのルールづくりを勧めています。

7. 7番 藤本善男 議員 (一問一答)

1. 島田市立小中学校再編計画について

全国的に進む少子化の影響を受け、当市でも小・中学校の児童生徒数が減少し、一部の学校においては理想とする一定の集団規模を確保することが困難な状況となっている。

このような教育環境の低下を最小限とするため、市では平成27年から市内小・中学校のあり方に関する検討を開始し、このたび第8回島田市教育委員会定例会において、島田市立小中学校再編計画に対する判断が下された。

しかし、2つの委員会での議論を経て取りまとめられた再編計画であるが、島田北中学校区では現時点でも一部の当事者に理解が得られていない状況であることから、学校再編の進め方について、以下伺う。

<質問>

(1) 島田市立小学校及び中学校の在り方検討委員会及び島田市教育環境適正化検討委員会から出された提言は、どのように再編計画に織り込まれたか。

<答弁>

島田市立小学校及び中学校の在り方検討委員会からは、「学校・家庭・地域が一体となって、理想とする教育を目指す」とする教育理念や、理念実現のための基本的方向性として5項目の提案を示していただいています。

その提案を前提とし、島田市教育環境適正化検討委員会では意見交換会やアンケート調査を行い、今後の島田市における教育環境についての議論を重ねて提言書をまとめていただきました。

提言書では、保護者等から北中学校、湯日小学校の早期再編を望む声が多いことや、通学の安全確保、再編に向けた交流活動等、学校再編計画策定にあたり考慮すべき点もあげられており、島田市立小中学校再編計画の根幹となっています。

<質問>

(2) 地元での意見交換会や地元説明会で出された意見は、学校再編計画に反映することができたか。

<答弁>

意見交換会や地元説明会では、児童・生徒の通学の安全性や精神面への影響のほか、保護者の費用負担等、様々な御意見をいただきました。こうした児童・生徒や保護者の不安を軽減するため、本計画には「学校再編に対し考慮すべき事項と対策」の項目を盛り込みました。

なお、有効な対策は統合する学校により異なるため、今後、本格的に学校間で話し合うカリキュラム等検討委員会において協議し、具体策をお示ししていくこととなります。

<質問>

(3) パブリックコメントに寄せられた意見は、学校再編計画に反映することができたか。

<答 弁>

パブリック・コメントには、21人から33件31項目の御意見を寄せていただきました。このうち、本計画へ既に盛り込み済みの意見が8項目有り、新たに反映した意見は2項目で、不登校や特別な支援を要する児童・生徒への対応として、スクールソーシャルワーカーや支援員の配置に留意することなどを明記しました。

また、今後の検討課題とする意見が17項目と多くなっていますが、その意見の多くは、カリキュラム等検討委員会で協議・検討し、学校間で調整することにより、課題解決に向けて前向きに対応することができるものと考えております。

<質 問>

(4) 学校再編計画に一部の当事者から理解が得られていない状況であるが、学校再編に係る準備は、今後どのように進めていくか。

<答 弁>

学校再編にあたっては、子供たちが統合後の学校生活を安心して迎えられるよう、学校間交流にいち早く取り掛かるべきと考えています。

令和3年4月に統合する湯日小学校と初倉小学校及び北中学校と島田第一中学校については、できるだけ早い時期から計画的に交流活動を進めていけるように、関係校で組織されたカリキュラム等検討委員会で協議を開始しました。

また、カリキュラム等検討委員会では、学校の名称、校歌、PTA組織等の調整などを行うほか、保護者や地域の方を含む作業部会で記念式典等の準備を進めていきます。

今後は、委員会及び作業部会で決まったことや協議している内容を定期的に周知して、関係者の不安を解消していきたいと考えています。

12. 10番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1. 子どもたちに行き届いた教育を

国連子どもの権利委員会は、2019年2月、日本政府に「社会の競争主義的な性格により子ども時代と発達が害されることなく、子どもがその子ども時代を享受することを確保するための措置をとること」「あまりにも競争主義的な制度を含むストレスフルな学校環境から子どもを解放することを目的とする措置を強化すること」「子どもが自由に意見を表明する権利を確保し、脅かしと罰から子どもを守り、子どもの意見が適切に重視されることを確保すること」を勧告した。学校が、子どもにとって、子どもらしく成長、発達していくための場であるために、それを支える教員、嘱託員の配置について、以下伺う。

<質 問>

(1) 少人数学級について

① 小・中学校の1クラスの人気数は、小学校の1学年、2学年は35人以下で、それ以外は静岡式35人学級を実施している。学校規模、学年人数により、1クラスの人気数はさまざまである。31人以上となっている学級数、また割合はどうか。

<答 弁>

市内小学校の学級数は195学級あり、そのうち1クラスの人気数が31人以上の学級は62学級で、割合は約32%です。市内中学校の学級数は75学級あり、そのうちの48学級が1クラスの人気数が31人以上で、割合は約64%です。

<質 問>

② 特別支援学級は8人以下としているが、5人以上の学級数、また割合はどうか。
<答 弁>

知的学級は市内小・中学校に21学級あり、1クラス5人以上の学級は12学級で、割合は約57%です。自閉症・情緒学級は、市内小・中学校に12学級あり、1クラス5人以上の学級は5学級で、割合は約42%です。

<質 問>

(2) 市の嘱託員の配置について

① 嘱託員は、来年度から会計年度任用職員に移行する。1年ごとに選考を行い採用を決定することだが、教育は継続性が必要であり、機械的な運用はなじまないと考える。

イ 学校教育支援員、学校図書館支援員、教育センター等の人員削減にならないよう求めるがどうか。

<答 弁>

現在、支援員等の配置により、児童・生徒の個々に応じた支援がなされております。しかし、発達に障害を持つ児童・生徒が年々増加しているため、その必要性は高まっております。児童・生徒が安全に、そして安心して学校生活を送るための配置に努めていきたいと考えております。

<質 問>

② 全国的に不登校の児童や生徒が増加していると聞く。

ア 当市の実態はどうか。

<答 弁>

昨年度と今年度の7月末現在の不登校児童生徒数を比較すると、小学校では昨年約20人でしたが今年は約25人、中学校では昨年約40人でしたが今年は約50人でした。小中学校ともに増加傾向にあります。

<質 問>

イ 学校と関係機関の連携を進めるスクールソーシャルワーカーの仕事の重要性が高まっている。増員を求めるがどうか。

<答 弁>

学校と外部機関をつないだり、小中学校のケース会議に参加したりすることで、不登校や家庭の問題など児童・生徒が抱える問題について福祉的な視点でアセスメントやプランニングを行うことができています。

昨年は3人で1,251時間を担当し、今年は3人で1,203時間を予定していますが、不登校の増加に歯止めがかからないため、更なるスクールソーシャルワーカーと学校の連携や、校内体制の充実を図っていきます。

13. 15番 森 伸一 議員 (一問一答)

2. 当市の教育の方向性について

島田市立小中学校再編計画や島田市立小学校及び中学校の在り方検討委員会提言書には学校再編計画のほかに、「コミュニティ・スクールの実施、小中一貫教育の推進」といった用語が見られる。どちらも内容は幅広く、導入の目的によって具体的な対応は異なってくる感じを受ける。そこで以下伺う。

<質 問>

(1) コミュニティ・スクール及び小中一貫教育の導入の対象地区、日程はどのように考えているか。

<答 弁>

コミュニティ・スクールについては、本年度、市内2つの中学校区を指定し研究を行っており、令和2年度から市内全校で導入する予定です。小中一貫教育については、これまでも島田市は小中連携を進めてきましたので、より一層の推進を図っていく予定です。

<質 問>

(2) コミュニティ・スクールは、学校や家庭、地域が一体となり島田の教育を進めたいという理念実現に向けた手立てと思うが、組織、内容など、具体的にはどのようなことを考えているか。

<答 弁>

コミュニティ・スクールには、地域住民、保護者、地域コーディネーター、学校の教職員を中心としたメンバーで構成する学校運営協議会を設置します。学校と地域がビジョンや課題、情報等を共有し協議することを通して、学校と地域が相互に連携・協働していくための基盤となることを目指します。

<質 問>

(3) 小中一貫教育といってもいろいろなパターンがあるが、市が目指すのはどのような内容を考えているか。

<答 弁>

小中一貫教育には、施設一体型・施設分離型とパターンがあります。「島田市立小中学校再編計画」にあるように、市長と教育委員との意見交換会では、今後の初倉地区の再編について、小学校と中学校の校舎を同一敷地内に設置することにも話題が広がりました。どのような形が島田市にふさわしいのか、今後、保護者や地域の意見も踏まえ調査・研究していきます。

議案に対する質疑（令和元年9月市議会定例会）

認定第1号 平成30年度島田市一般会計決算の認定について

3. 10番 桜井洋子議員

○歳入20款（決算書65～68ページ）

5項3目14節 教育雑入中、学校給食費保護者等負担金について

<質問>

(1) 収納率はどうか。

<答弁>

平成30年度の学校給食費保護者等負担金は、収納率 99.90%

調定額 406,237,730円

収入済額 405,816,202円

収入未済額 421,528円

<質問>

(2) 未納家庭への収納対策はどのように行われたのか。

<答弁>

当年度の未納世帯へは各学校から口座振替不能のお知らせや電話催告、訪問徴収を実施しており、学校給食課からは督促通知を保護者へ送付している。

6. 5番 伊藤孝議員

○歳出10款（決算書157・158ページ、報告書257・258ページ）

1項3目 教育研究推進費中、教育研究事務費、教育環境適正化経費について

<質問>

(1) 学校再編の方針案を作成するに当たり、人口予測は、何のデータを用いたか。

<答弁>

平成30年9月20日に提出をした教育環境適正化検討委員会提言書中の平成31年度から平成36年度までの小学校区別の入学予定者数は、平成24年度から平成29年度までの年度別出生数を基に算出しております。

なお、この数字は平成30年4月1日現在の住民基本台帳の記録を基にしております。

<質問>

(2) 使用したデータについて、用いた理由は何か。

<答弁>

学区別の入学予定者数を推計するためには、それぞれの児童の住所地が必要となることから、住民基本台帳を使用いたしました。

事務事業報告

事務事業の概要

教育総務課

実施（8月29日～9月25日）

月 日	曜日	事 項	場 所
8月29日	木	第8回教育委員会定例会	プラザおおるり
9月5日	木	職員室空調機改修工事	伊久美小学校
9月11日	水	南・北棟トイレ便器取替工事	金谷小学校
9月13日	金	屋内運動場オペレーター修繕工事	第一中学校

予定（9月26日～10月28日）

月 日	曜日	事 項	場 所
9月26日	木	第9回教育委員会定例会	プラザおおるり
10月7日	月	谷田川報徳社奨学金審査会	市役所会議棟
		第2回市町教育委員会教育長会	静岡県総合教育センター
10月9日	水	第1回外部評価委員会 （社会教育課、学校教育課、学校給食課、 スポーツ振興課）	プラザおおるり
10月11日	金	第2回外部評価委員会 （教育総務課、図書館課、博物館課）	プラザおおるり
		第2回総合教育会議	市役所本庁舎
10月25日	金	第2回学校事務職員研修会	市役所会議棟

事務事業の概要

学校教育課

実施（8月29日～9月25日）

月 日	曜日	事 項	場 所
8月30日	金	島田市立学校カリキュラム等検討委員会 (北中・島田第一中学校部会)	北中学校
9月3日	火	静岡県中学校学力診断調査(中3対象)	各校
9月7日	土	運動会(湯日小)	伊久美地区
		サタデーオープンスクール (参加者:25人)	
9月10日～ 9月11日	火 水	自然教室(第二小)	朝霧野外活動センター
9月11日	水	島田市立学校カリキュラム等検討委員会 (北中・島田第一中学校部会)	北中学校
9月11日～ 9月13日	水 金	自然教室(六合東小)	朝霧野外活動センター
9月12日～ 9月13日	木 金	自然教室(川根小)	焼津青少年の家
9月14日	土	体育大会(第二中、北中)	各校
		サタデーオープンスクール (参加者:21人)	伊久美地区
9月17日	火	代休(第二中、北中)	
9月20日～ 9月21日	金 土	自然教室(伊久美小)	焼津青少年の家
9月21日	土	体育大会(第一中、六合中、初倉中、金谷中、川根中)	各校
9月24日	火	代休(第一中、六合中、初倉中、金谷中、川根中)	
		島田市立学校カリキュラム等検討委員会 (初倉地区小学校部会)	湯日小学校

予 定 (9月26日～10月28日)

月 日	曜日	事 項	場 所
9月26日	木	就学支援委員会 (参加者：40人)	プラザおおりり
		島田市立学校カリキュラム等検討委員会 (北中・島田第一中学校部会)	第一中学校
9月26日～ 9月27日	木 金	自然教室 (大津小)	焼津青少年の家
9月28日	土	休日参観 (第二小、第三小、相賀小)	各校
		島田市中学校音楽交流会	プラザおおりり
9月30日	月	代休 (第二小、相賀小)	
10月5日	土	島田市英語検定 (参加予定：203人)	六合公民館
		サタデーオープンスクール (参加予定：25人)	伊久美地区
10月8日	火	島田市小学校陸上記録会	島田市陸上競技場
10月9日	水	わかあゆの会 (参加予定：15人)	教育センター
		学校安全支援事業実践委員会 (参加予定：9人)	第一中学校
10月16日	水	学校安全支援事業による防災の授業 (参加予定：3年生119人)	第一中学校
		北中・一中統合準備協議会	第一中学校
10月17日	木	文化祭 (北中)	
10月18日	金	文化祭 (第二中)	
10月19日	土	文化祭 (川根中)	
		休日参観 (第一小、第五小)	
		サタデーオープンスクール (参加予定：25人)	伊久美地区
10月21日	月	代休 (第一小、第五小、川根中)	
10月24日	木	遠足 (伊太小、初倉南小)	
10月24日～ 10月25日	木 金	修学旅行 (第三小)	東京
10月25日	金	文化祭 (第一中、六合中、初倉中、金谷中)	各校
10月26日	土	休日参観 (湯日小、川根小)	各校
		サタデーオープンスクール (参加予定：25人)	伊久美地区
10月28日	月	代休 (湯日小、川根小)	

事務事業の概要

学校給食課

実施（8月29日～9月25日）

月 日	曜日	事 項	場 所
8月29日	木	物資選定会議（10月分）	中部学校給食センター
9月3日	火	二学期学校給食開始	南部学校給食センター
9月5日	木	献立会議	中部学校給食センター
9月6日	金	J A女性部金谷地区会試食会 (参加者：35人)	中部学校給食センター
9月9日～ 9月13日	月 金	常葉大学生栄養士実習 (参加者：1人)	中部学校給食センター
9月10日	火	食材放射能検査 (南部学校給食センター食材 島田市産 小松菜)	県立静岡視覚特別 支援学校
9月19日	木	物資選定会議（11月分）	中部学校給食センター
9月20日	金	南部学校給食センター改修工事完成検査	南部学校給食センター

予 定（9月26日～10月28日）

月 日	曜日	事 項	場 所
9月27日	金	第1回志太地区栄養教諭等研修会	藤枝西部学校給食 センター
10月2日	水	学校給食関係職員衛生研修会 (参加予定：130人)	金谷公民館
10月3日	木	献立会議	中部学校給食センター
10月7日～ 10月11日	月 金	岐阜女子大学生栄養士実習 (参加予定：1人)	南部学校給食センター
10月9日	水	薬剤師検査	中部学校給食センター
10月16日	水	薬剤師検査	南部学校給食センター
10月17日	木	物資選定会議（12月分）	中部学校給食センター

事務事業の概要

社会教育課

実施（8月29日～9月25日）

月 日	曜日	事 項	場 所
8月29日	木	不登校やひきこもり等に悩む連続親学講座「ゆったり座談会」 (参加者：2人)	市役所会議棟
		県社会教育実践研修（第2日） (受講：職員1人、社会教育委員3人)	県総合教育センター (掛川市)
8月30日	金	しまだ大井川あいさつの風プロジェクト (参加者：30人)	島田駅ほか1箇所
8月31日	土	みんくる夕涼みコンサート (参加者：70人)	金谷公民館
9月4日	水	第3回初めて0歳児をもつ親の講座 (第3期) (参加者：20組 40人)	プラザおおるり
		はつくら寺子屋（初倉小学校） (参加者：13人)	初倉公民館
		はつくら寺子屋（湯日小学校） (参加者：7人)	湯日小学校
9月5日	木	中央市民学級第5回学習会「楽しい声」 (参加者：12人)	しまだ楽習センター
		子育て広場「ぐう・ちょき・ぱあ」 (参加者：17組 36人)	第一中学校
9月6日	金	伊久身農村環境改善センター運営委員会 (参加者：9人)	伊久身農村環境改善センター
9月8日	日	金谷公民館 子ども科学実験隊 「光ってなんだろう」いろいろな光の実験 (参加者：13人)	金谷公民館
		金谷公民館 家庭教育講座「ハッピー生活術講座」カメラの撮り方テクニック (参加者：7人)	金谷公民館
		パパとママのための絵本の広場 (参加者：6人)	金谷公民館
9月9日	月	家庭教育推進グループ定例会 「きずな」作成 (参加者：8人)	プラザおおるり

月 日	曜日	事 項	場 所
9月11日	水	社会教育委員 第3回会議 (出席委員：7人)	プラザおおるり
		第4回初めて0歳児をもつ親の講座 (第3期) (参加者：22組 44人)	プラザおおるり
		初倉放課後子ども教室 「フレンズクラブ」選択活動 (参加者：16人)	岡田公会堂
		はつくら寺子屋(初倉南小学校) (参加者：28人)	初倉南小学校
9月12日	木	初倉公民館あゆみ学級(市民学級) 野外研修「碧南火力発電所」 (参加者：23人)	愛知県碧南市
		指定管理者外部評価(楽習センター) (出席者：12人)	しまだ楽習センター
		東海道金谷宿大学第2回理事会 (参加者：11人)	金谷公民館
		子育て広場「ぐう・ちよき・ぱあ」 (参加者：17組 37人)	第一中学校
		ベーゼンドルファーを弾こう♪ (指定管理者自主事業) (参加者：11組)	プラザおおるり
9月13日	金	子育て広場あかちゃん部 (参加者：9組 18人)	六合公民館
9月14日	土	第14回 蓬莱橋観月会 (文化協会事業) (参加者：300人)	蓬莱橋
		金谷公民館 高齢者学級(もみじ学級) 写仏画体験 (参加者：19人)	金谷公民館
9月17日	火	青少年育成支援センター運営協議会 第3回運営委員会 (参加者：15人)	市役所会議棟
9月18日	水	幼児期家庭教育講座3回目 自己肯定感を育てるワクワク子育て (参加者：33人)	プラザおおるり

月 日	曜日	事 項	場 所
9月18日	水	アルゼンチンタンゴ2019 ～進化を続ける情熱たち～ (指定管理者自主事業) (参加者：290人)	プラザおおるり
		初倉放課後子ども教室 「フレンズクラブ」選択活動 (参加者：18人)	岡田公会堂
		はつくら寺子屋(初倉小学校) (参加者：14人)	初倉公民館
		はつくら寺子屋(湯日小学校) (参加者：7人)	湯日小学校
9月19日	木	第2回不登校やひきこもりに悩む連続親学 講座 (参加者：15人)	市役所会議棟
		東海道金谷宿大学第2回教授会 (参加者：34人)	金谷公民館
		子育て広場「ぐう・ちよき・ぱあ」 (参加者：21組47人)	第一中学校
9月20日	金	指定管理者外部評価(野外活動センター) (出席者：9人)	野外活動センター
9月21日	土	モンゴル馬頭琴 四重奏コンサート (指定管理者自主事業) (参加者：280人)	川根文化センター
		金谷公民館 げんきキッズわくわくクラ ブ「稲作体験をしよう」 (参加者：17人)	金谷公民館
		青年ボランティア講座 第9回子ども達と稲刈り体験 (参加者：4人)	島地区
9月22日	日	金谷公民館 げんきキッズわくわくクラ ブ「野外で体験しよう～いざに備えて～」 (参加者：5人)	金谷公民館
		金谷公民館 げんきキッズわくわくクラ ブ「わっぱの集い」 (参加者：5人)	
		夢づくりファミリーコンサート (指定管理者自主事業) (参加者：140人)	金谷生きがいセン ター

月 日	曜日	事 項	場 所
9月25日	水	初倉公民館生涯学級（高齢者学級） 野外研修「碧南火力発電所」 (参加者：57人)	愛知県碧南市
		金谷公民館 おやじの井戸端講座、市民学 級合同研修会「生活に役立つ法律講座」行 政経営部 高橋参事（法務専門官） (参加者：53人)	金谷公民館
		初倉放課後子ども教室「フレンズクラブ」 グラウンドゴルフ (参加者：19人)	初倉南小学校
		北部ふれあいセンター運営委員会 (出席者：9人)	北部ふれあいセン ター

予 定 (9月26日～10月28日)

月 日	曜日	事 項	場 所
9月26日	木	第2回六合公民館運営審議会 (参加予定：9人)	六合公民館
		中央高齢者学級第5回学習会 「笑って歌う！ワラウタの会」 (参加予定：40人)	しまだ楽習センター
		幼児・児童をもつ親の講座 「どならない子育て」1回目 (参加予定：50人)	プラザおおるり
9月26日～ 9月28日	木 土	神座小通学合宿 (参加予定：23人)	野外活動センター
9月27日	金	子育て広場あかちゃん部 (参加予定：20組 40人)	金谷公民館
		初倉公民館あゆみ学級(市民学級) 講座「イ草リース作り」 (参加予定：13人)	初倉公民館
		指定管理者外部評価 (山村都市交流センター) (出席予定：8人)	山村都市交流センター
9月28日	土	金谷公民館 社会教育講座 「私もパティシエ」 (参加予定：20人)	夢づくり会館
9月29日	日	公民館利用者による施設清掃作業 (参加予定：40人)	金谷公民館
		芸術家派遣事業 社会福祉協議会「ふれあい広場」 派遣芸術家：SK2(パーカッション) (参加予定：50人)	プラザおおるり
10月1日	火	幼児期家庭教育講座4回目リンパマッサージ (参加予定：50人)	プラザおおるり
		映画「二宮金次郎」鑑賞会(共催事業) (参加予定：中学校980人、一般600人)	プラザおおるり
10月2日	水	第2回生涯学習大会フェスタしまだ2020！ 実行委員会 (参加予定：26人)	市役所会議棟
		初倉放課後子ども教室「フレンズクラブ」フ レンズまつり準備 (参加予定：20人)	岡田公会堂

月 日	曜日	事 項	場 所
10月2日	水	子育て広場「ぐう・ちょき・ぱあ」 (参加予定：20組 40人)	第一中学校
10月3日	木	幼児・児童をもつ親の講座 「どならない子育て」2回目 (参加予定：50名)	プラザおおるり
10月4日	金	県人権教育行政担当者連絡協議会 (市出席予定：2人)	県総合社会福祉会館 (静岡市葵区)
		中央市民学級第6回学習会 県内移動学習 「富士山世界遺産センター・富士宮浅間大社 見学」 (参加予定：25人)	富士宮市
10月5日	土	小中学生をもつ親の講座 「プチ心理学講座（思春期版）」 (参加予定：50人)	プラザおおるり
10月6日	日	金谷公民館 げんきキッズわくわくクラブ 「お散歩の集い」 (参加者：20人)	金谷公民館
10月9日	水	金谷公民館 もみじ学級 「健康を保つ季節料理」 (参加予定：30人)	夢づくり会館
		初倉放課後子ども教室 「フレンズクラブ」フレンズまつり準備 (参加予定：20人)	岡田公会堂
		はつくら寺子屋（初倉南小学校） (参加予定：29人)	初倉南小学校
10月10日	木	第2回金谷公民館運営審議会 (参加予定：10人)	金谷公民館
		子育て広場「ぐう・ちょき・ぱあ」 (参加予定：20組 40人)	第一中学校
		幼児・児童をもつ親の講座 「どならない子育て」3回目 (参加予定：50人)	プラザおおるり
10月11日	金	六合公民館 社会教育講座 「スマホ・タブレット講座」 (参加予定：15人)	六合公民館
		子育て広場あかちゃん部 (参加予定：20組 40人)	六合公民館

月 日	曜日	事 項	場 所
10月12日	金	芸術家派遣事業 (MOA美術館島田児童作品展表彰式) 派遣芸術家：竹花加奈子 (チェロ) (参加予定：100人)	プラザおおるり
10月12日～ 11月24日	金 日	ちいさな村のワビ・サビレッジ (市文化プログラム支援事業) (参加予定：1,200人)	博物館分館 (日本家屋)
10月13日	土	夢づくりJAZZ SESSION 2019 (指定管理者自主事業) (参加予定：250人)	夢づくり会館
10月16日	水	はつくら寺子屋 (初倉小学校) (参加予定：15人)	初倉公民館
		はつくら寺子屋 (湯日小学校) (参加予定：7人)	湯日小学校
		初倉放課後子ども教室「フレンズクラブ」 フレンズまつり (参加予定：20人)	岡田公会堂
		読み聞かせボランティア研修 (参加予定：15人)	静岡県立中央図書館
10月16日～ 10月17日	水 木	幼児合同演劇鑑賞会 (参加予定：1,583人)	プラザおおるり
10月17日	木	六合公民館 社会教育講座「パパママ楽しむパン作り講座」※託児付き (参加予定：8人+託児数)	六合公民館
10月17日～ 10月19日	木 土	川根小通学合宿 (参加予定：28人)	山村都市交流センター
		大津小通学合宿 (参加予定：35人)	大津農村環境改善センター
10月18日	金	市町人権教育連絡教育協議会 ①研修会「自分の人権も 相手の人権も大切に コミュニケーション」 ②社会教育部会・学校教育部会 (参加予定：10市町50人)	六合公民館
		島田市民文化祭開会式 (参加予定：100人)	プラザおおるり
10月18日～ 10月20日	金 日	島田市民文化祭 展示部門1期 (参加予定：500人)	プラザおおるり

月 日	曜日	事 項	場 所
10月19日	土	しまだガンバ! パラグライダーふわっと体験 (参加予定: 40人)	川根身成地区
10月19日～ 10月20日	土 日	第13回金谷公民館まつり (参加予定: 3,000人)	金谷公民館
		初倉まつり (主催: 初倉コミュニティ委員会) (参加予定: 3,000人)	初倉公民館及び周辺
10月20日	日	夢づくり寄席 ～さん喬・花緑 二人会～ (指定管理者自主事業) (参加予定: 500人)	夢づくり会館
10月23日	水	はつくら寺子屋 (初倉小学校) (参加予定: 29人)	初倉公民館
		初倉放課後子ども教室 「フレンズクラブ」 ドッジボール (参加予定: 20人)	湯日小学校
10月24日	木	中央高齢者学級第6回学習会 「終活について」 (参加予定: 40人)	しまだ楽習センター
10月24日～ 10月26日	木 土	島田第一小通学合宿 (参加予定: 32人)	島田高校修己館
		湯日小通学合宿 (参加予定: 21人)	養勝寺
10月26日	土	みんくる夕焼けコンサート (参加予定: 100人)	金谷公民館
10月26日～ 10月27日	土 日	六合コミュニティ文化祭 ※六合公民館と共催 (参加予定: 2,000人)	六合公民館、 六合小学校
10月28日	月	第3回生涯学習推進協議会 (参加予定: 11人)	市役所会議棟

事務事業の概要

博物館課

実施（8月29日～9月25日）

月 日	曜日	事 項	場 所
7月20日～ 9月8日	土 日	収蔵品展 「郷土の焼物 志戸呂焼」	博物館本館
8月31日～ 11月4日	土 祝	収蔵品展 「海野光弘 彩～花野に誘われて～」	博物館分館
9月1日	日	しまはくワークショップ 「ちょっと昔のおもしろ体験」 (参加者：11人)	博物館分館
9月8日	日	しまはくワークショップ 「わくわくアトリエ」 (参加者：9人)	博物館本館
9月15日	日	島田鍛冶と刀剣講座 (参加者：8人)	博物館本館
9月21日～ 12月1日	土 日	第79回企画展 「音にきこゆるvol. 4 島田の刀鍛冶とその ルーツ」	博物館本館
9月21日	土	海野光弘展関連イベント 学芸員によるギャラリートーク (参加者：7人)	博物館分館
		第79回企画展 「音にきこゆるvol. 4 島田の刀鍛冶とその ルーツ」 ・オープニングセレモニー&輦台越しモ ニュメント除幕式 (参加者：40人) ・企画展関連イベント「名刀写しを持っ てみよう」 (参加者：47人)	博物館本館
9月22日	日	おもちゃ病院しまだ (参加者：17組)	博物館本館

予 定 (9月26日～10月28日)

月 日	曜日	事 項	場 所
8月31日～ 11月4日	土 祝	収蔵品展 「海野光弘 彩～花野に誘われて～」	博物館分館
9月21日～ 12月1日	土 日	第79回企画展 「音にきこゆるvol. 4 島田の刀鍛冶とその ルーツ」	博物館本館
9月29日	日	刀剣展関連イベント 「特別トークセッション 島田鍛冶義助と 御手杵」 (参加予定：30人)	博物館本館
10月5日	土	刀剣展関連イベント 「刀剣相談会」 (参加予定：30人)	博物館本館
10月12日	土	海野光弘展関連イベント 学芸員によるギャラリートーク (参加予定：20人)	博物館分館
10月13日	日	しまはくワークショップ 「わくわくアトリエ」 (参加予定：40人)	博物館本館
10月19日	土	博物館講座 「戦国大名今川氏の歴史講座」 (参加予定：30人)	博物館本館
10月27日	日	おもちゃ病院しまだ (参加予定：10組)	博物館本館

事務事業の概要

スポーツ振興課

実施（8月29日～9月25日）

月 日	曜日	事 項	場 所
9月3日	火	金谷地区体育施設集中受付	金谷体育センター
9月4日	水	ペタンク教室 (参加者：12人)	川根地区センター
9月10日	火	市民ペタンク大会抽選会 (参加者：7人)	市役所会議棟
9月13日	金	ママさん教室 ※毎週金曜日、全5回 (参加者：23人)	金谷体育センター
9月18日	水	スポーツ推進委員定例会 (参加者：22人)	川根支所
9月19日	木	静岡県ワシタカ類保護対策検討委員会 (参加者：3人)	環境プラザ
9月20日	金	夜間照明施設受付	市役所会議棟 金谷体育センター
9月24日	火	市町対抗駅伝競走大会実行委員会 兼代表選手選考会議 (参加者：7人)	市役所会議棟

予定（9月26日～10月28日）

月 日	曜日	事 項	場 所
9月26日	木	スポーツ推進委員 運営委員会 (参加予定：10人)	市役所会議棟
9月29日	日	市民ペタンク大会 (参加予定：90人)	ローズアリーナ
10月1日	火	金谷地区体育施設集中受付	金谷体育センター
10月10日	木	市町対抗駅伝競走大会 代表選手説明会 (参加予定：30人)	市役所会議棟
10月16日	水	ワンバウンドふらば～るバレーボール教室 ※毎週火曜日、全5回 (参加予定：30人)	ローズアリーナ
10月18日	金	夜間照明施設受付	市役所会議棟 金谷体育センター
10月25日	金	スポーツ推進委員定例会 (参加予定：29人)	市役所会議棟

事務事業の概要

図書館課

実施（8月29日～9月25日）

月 日	曜日	事 項	場 所
6月22日～ 12月1日	土 日	きかんしゃトーマス運行応援企画	金谷図書館
7月2日～ 9月1日	火 日	ほんのむしカード配布	金谷・川根図書館
7月2日～ 9月29日	火 日	一般展示コーナー設置 「涼を誘う本 夏バテ対策本」	金谷図書館
7月3日～ 8月30日	水 金	児童展示コーナー設置 「自由研究におすすめ」	島田図書館
7月3日～ 8月31日	水 土	児童展示コーナー設置 「戦争」	島田図書館
7月3日～ 9月1日	水 日	夏休み課題・感想画図書貸出し	島田・金谷・川根 図書館
8月29日～ 9月18日	木 水	展示コーナー 「孫といっしょに水彩画展」	金谷図書館
9月1日	日	特集コーナー設置 一般：「80歳以上の現役作家（小説・エッセイ）」 児童：「いい夢みてね（お月さま・お星さま・眠る）」	島田図書館
		特集コーナー設置 一般：「敬老の日読書のすすめ」 児童：「おじいちゃん・おばあちゃん」 「スポーツの本～ラグビーワールドカップ日本開催～」	金谷図書館
		特集コーナー設置 一般：「防災」 児童：「だいすき！おじいちゃん・おばあちゃん」	川根図書館
9月3日	火	ブックスタート (参加者：32人)	保健福祉センター
9月5日	木	おはなしギフト(ぐう・ちょき・ぱあ) (参加者： 35 ³⁶ 人)	第一中学校
		島田実業高等専修学校施設見学受入れ (参加者：45人)	島田図書館

月 日	曜日	事 項	場 所
9月6日	金	高齢者おはなし会 (参加者：9人)	ふれあい健康プラザ
9月8日	日	家庭教育講座「パパとママのための絵本の広場」講師派遣	金谷公民館
9月9日	月	図書ヨガ！ (参加者：22人)	島田図書館
9月10日	火	ブックスタート (参加者：22人)	保健福祉センター
9月11日	水	第二小学校施設見学受入れ (参加者：57人)	島田図書館
9月12日	木	おはなし宅配便 (参加者：21人)	こども発達支援センターふわり
9月13日	金	おはなしギフト (元島田きしゃぼんぼ) (参加者：26人)	元島田公会堂
9月18日	水	学校図書館ボランティア修理講座講師派遣	第一小学校
9月19日	木	おはなしギフト (すまいるハウスたまご) (参加者：36人)	歩歩路
		令和元年度第2回島田市立図書館協議会 (視察研修) (参加者：11人)	浜松市立中央図書館
9月20日～ 10月8日	金 火	展示コーナー 「大井川の恵み「水」を知る」	金谷図書館
9月22日	日	子育て応援フェスタ「しまいく」出展	ローズアリーナ

9月26日 木 学校図書支援

附属中

予 定 (9月26日～10月28日)

月 日	曜日	事 項	場 所
6月22日～ 12月1日	土 日	きかんしゃトーマス運行応援企画	金谷図書館
7月2日～ 9月29日	火 日	一般展示コーナー設置 「涼を誘う本 夏バテ対策本」	金谷図書館
9月20日～ 10月8日	金 火	展示コーナー 「大井川の恵み「水」を知る」	金谷図書館
9月27日	金	おはなしギフト (ひよこ)	五和保育園
		おはなしギフト (あかちゃん部)	金谷公民館
10月1日	火	特集コーナー設置 一般：「ハロウィン」「読書週間」 児童：「ハロウィン・魔女」	金谷図書館

10月1日 火 学校図書支援

フニイ

月 日	曜日	事 項	場 所
10月1日	火	ブックスタート	保健福祉センター
		特集コーナー設置 一般：「古都を訪ねて（京都・奈良の小 説・ガイド）」 児童：「ハロウィン（かぼちゃ・魔女・こ うもり・モンスター）」	島田図書館
		特集コーナー設置 一般：「四季を楽しむ」 児童：「ハロウィン」	川根図書館
10月1日～ 10月31日	火 木	秋の読書週間 「川根小学校合同スタンプラリー」	川根図書館
10月2日	水	おはなしギフト（シャローム）	聖母保育園
10月2日～ 11月29日	水 金	一般書特集コーナー設置 「美味しそうな本」	金谷図書館
10月8日	火	ブックスタート	保健福祉センター
10月9日	水	五和小学校施設見学受入れ (参加予定：63人)	金谷図書館
		高齢者おはなし会	ふれあい健康プラ ザ
10月10日～ 10月29日	木	展示コーナー 「LE-CIEL デコラティブツールペイン ティング」	金谷図書館
	火		
10月15日	火	第2回島田市小・中学校司書教諭・学校図 書館担当者研修会講師派遣	プラザおおりり
10月17日	木	神座小学校施設見学受入れ (参加予定：〇人)	島田図書館
10月24日～ 11月17日	木 日	どんぐりカード配付	金谷図書館
10月25日	金	おはなしギフト（あかちゃん部）	金谷公民館
10月26日	土	おはなしマラソン	島田図書館
10月27日～ 11月9日	日 土	秋の読書週間児童特集 「落語～声に出して読んでみよう～」	島田図書館
		秋の読書週間児童特集 「謎をときあかそう！ミステリーの本」	金谷図書館
		秋の読書週間児童特集 「かわいいね、みんなのねがお～おやす みまえのよみきかせ絵本～」	川根図書館

島田市教育委員会定例会議案

協 議 事 項

(協議事項)

教育総務課

今後の総合教育会議の検討課題について

今後の総合教育会議の検討課題について協議します。

次回教育委員会定例会における
協議事項の集約

報 告 事 項

教育委員会に関する事務の点検・評価について

1 点検・評価の導入の目的

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要性が高いものと考えられます。また、教育委員会が地域住民に対する説明責任を果たし、その活動を充実することが求められています。

このようなことから、平成19年6月に公布された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律において、教育委員会の行政の執行状況について、点検・評価を実施することが義務づけられ、平成20年4月1日から施行されています。

2 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条のポイント

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が①毎年、②教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理執行の状況について、③教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ、点検評価を行うこととし、④その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことが規定されています。

ただし、どのような点検・評価を行うか、また、報告書の様式、議会への報告の方法などについては、法律等に規定がありません。

3 外部評価委員

中 村 盛 高	元 (社)島田福祉の社 特別養護老人ホームあすか 施設長 元 島田市健康福祉部長
高 橋 典 子	元 島田市教育委員会委員 元 島田中央幼稚園教諭

4 島田市教育委員会点検評価実施要領

別紙1の島田市教育委員会点検評価実施要領（案）により実施する。

5 点検・評価実施スケジュール

別紙2のとおり

島田市教育委員会点検・評価実施要領（案）

（趣旨）

第1 この要領は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年律第162号）第26条第1項の規定に基づき行う教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の実施並びにその結果に関する報告書の作成、議会への提出及び公表に関し必要な事項を定めるものとする。

（目的）

第2 教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図り、及び住民への説明責任を果たすため、点検・評価を行う。

（対象）

第3 点検・評価の対象となる事務事業は、次のとおりとする。

- (1) 教育委員会の活動
- (2) 教育部各課の主要な事務事業

（手法）

第4 対象事務事業の効果を把握し、その目的又は目標に照らし、投入したコストに対して、実績や成果を有効性、必要性、効率性、公平性の観点から、客観的に評価を行うものとする。

2 点検・評価に当たっては、客観的な実施の確保を図るため、事務事業の特性に応じた合理的な手法を用い、事業効果をできる限り定量的に把握するものとする。

（様式）

第5 点検・評価に使用する様式は、事務事業評価シート（様式第1号又は様式第2号）とする。

（実施者）

第6 事務事業評価シートは当該事務事業の担当課の職員が作成し、担当課長は当該事務事業について自己評価を行う。

2 前項の規定により担当課長が行った自己評価の結果について、教育部長及び教育部内の課長により構成する点検評価部課長会議において調整を行う。

3 第1次評価は、前2項の規定により作成された事務事業評価シートにより、教育委員会が行う。

4 第2次評価は、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、外部評価委員が行う。

（時期）

第7 事務事業評価シートは、別に定める日までに作成し、教育総務課に提出するものとする。

2 第1次評価は、毎年11月の教育委員会定例会において行う。

3 第2次評価は、第1次評価を行った年の翌年1月までに行う。

（公表の方法）

第8 点検・評価の報告書は、市ホームページ、情報公開コーナーにおいて市民に公表する。

(結果の反映)

第9 教育委員会は、点検・評価の結果を翌年度の当該事務事業に適切に反映させるものとする。

附 則

この要領は、令和元年9月26日から施行する。

【事務事業評価シート】

(様式1)

番号		-								
事業名		〇〇〇〇事業				所管課				
事業の概要	開始年度			個別計画等						
	国庫・県単・市単			根拠法令等						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接		<input type="checkbox"/> 委託		<input type="checkbox"/> 補助		<input type="checkbox"/> 貸付		
		<input type="checkbox"/> 負担金		<input type="checkbox"/> その他()						
	総合計画の位置づけ	施策の柱								
		施策と内容								
	対象									
目標とすべき姿										
事業内容 (小事業)	①									
	②									
	③									
	④									
	⑤									
事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	R1年度 (予算額)	特記事項			
	決算額(A)(R1年度は予算額)		千円							
	決算額のうち一般財源		千円							
	概算人件費	従事する職員数		人				R1年度の主な歳出(A)の節別内訳		
		概算人件費(B)		千円	0	0	0			
概算事業費 (A+B)		千円	0	0	0					
実績と成果	区分			単位	29年度	30年度	R1年度 (決算見込)	R1年度 (当初目標)		
	事業の実績 (アウトプット)									
	事業の成果 (アウトカム)									
	上記以外のR1年度の実績・成果									

区 分		判定及び説明・考察					
事業 の 評 価	有効性 (達成 度)	期待された成果 (アウトカム)は 得られたか	自己評価	外部評価			
			①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
必要性	H30総合計画アン ケート調査結果	該当項目		重要度			
				満足度			
	事業のニーズに 変化があるか (事業実施後の ニーズの変化)	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
市の関与を見直 す余地はないか (市が関与する 範囲は適切か)	<input type="checkbox"/> 余地なし	<input type="checkbox"/> 当面は余地なし	<input type="checkbox"/> 余地あり(H30に改善)	<input type="checkbox"/> 余地あり(H31以降改善)			
効率性	効率性を高める 余地はないか (効率的に実施 できたか)	<input type="checkbox"/> 余地なし	<input type="checkbox"/> 当面は余地なし	<input type="checkbox"/> 余地あり(H30に改善)	<input type="checkbox"/> 余地あり(H31以降改善)		
公平性	公平性を見直す 余地はないか (事業の効果は 公平に配分され たか)	<input type="checkbox"/> 余地なし	<input type="checkbox"/> 当面は余地なし	<input type="checkbox"/> 余地あり(H30に改善)	<input type="checkbox"/> 余地あり(H31以降改善)		
上記評価を踏まえた 事業の課題							
総合評価	自己評価		外部評価				
外部評価委員の意見							

【事務事業評価シート(投資的な事業)】

(様式2)

番号		-											
事業名		〇〇〇〇事業				所管課							
事業の概要	開始年度			個別計画等									
	国庫・県単・市単			根拠法令等									
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接		<input type="checkbox"/> 委託		<input type="checkbox"/> 補助		<input type="checkbox"/> 貸付		<input type="checkbox"/> 負担金		<input type="checkbox"/> その他()	
	総合計画の位置づけ	施策の柱											
		施策と内容											
	対象												
	目標とすべき姿												
事業内容(小事業)	①												
	②												
	③												
	④												
	⑤												
事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	R1年度	R2年度以降	事業期間					
	決算額 (R1年度は予算額)		千円										
	財源内訳	国庫支出金		千円					総事業費(千円)				
		その他		千円									
		市債		千円									
一般財源		千円											
実績と成果	区分				単位	29年度	30年度	R1年度 (決算見込)	R1年度 (当初目標)				
	事業の実績 (アウトプット)												
	事業の成果 (アウトカム)												
	上記以外のR1年度の実績・成果												

区 分		判定及び説明・考察				
有効性 (達成度)	期待された成果 (アウトカム)は 得られたか	自己評価	外部評価			
		①				
		②				
		③				
		④				
		⑤				
必要性	H30総合計画アンケート調査結果	該当項目		重要度		
				満足度		
	事業のニーズに 変化があるか (事業実施後の ニーズの変化)	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少	
市の関与を見直 す余地はないか (市が関与する 範囲は適切か)	<input type="checkbox"/> 余地なし	<input type="checkbox"/> 当面は余地なし	<input type="checkbox"/> 余地あり(H30に改善)	<input type="checkbox"/> 余地あり(H31以降改善)		
効率性	効率性を高める 余地はないか (効率的に実施 できたか)	<input type="checkbox"/> 余地なし	<input type="checkbox"/> 当面は余地なし	<input type="checkbox"/> 余地あり(H30に改善)	<input type="checkbox"/> 余地あり(H31以降改善)	
公平性	公平性を見直 す余地はないか (事業の効果は 公平に配分され たか)	<input type="checkbox"/> 余地なし	<input type="checkbox"/> 当面は余地なし	<input type="checkbox"/> 余地あり(H30に改善)	<input type="checkbox"/> 余地あり(H31以降改善)	
上記評価を踏まえた 事業の課題						
総合評価	自己評価		外部評価			
外部評価委員の意見						

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市議会						・2/7議員全員協議会(説明)	
外部評価委員会		・10月9日・11日:第1・2回外部評価委員会(本年度打合せ・各課との意見交換)	・11月中旬:第3回外部評価委員会(教育委員との意見交換)	・12月中旬:第4・5回外部評価委員会(各課との意見交換)			・2月議会(2/14-3/26)
教育委員会		・第9回教育委員会定例会(作成方針を説明)	・11月中旬:第3回外部評価委員会(教育委員との意見交換)	・11月下旬:第11回教育委員会定例会(点検評価結果協議)			
点検評価部課長会議		・10/30:第1回部課長会議(シートの検討)			・1/29:第1回教育委員会定例会(評価結果報告)		
各課担当者		・9月下旬:第1回担当者会議(前年度の反省、スケジュール確認、シート作成依頼)	・11月中旬:教育委員会事前打合せ(中間確認)	・1月中旬:教育委員会事前打合せ(最終確認)			
各課		・9月下旬:担当者の報告	・10/20頃:シート提出期限	・11月上旬から:シートの修正	・1月上旬:外部評価まとめ提出期限		
事務局 (教育総務課)		・9月下旬:第1回担当者会議(前年度の反省、スケジュール確認、シート作成依頼)	・11月上旬から:シートの修正	・10月上旬:第1・2回外部評価委員会(本年度打合せ・各課との意見交換)	・12月中旬:第4・5回外部評価委員会(各課との意見交換)	・2/15頃広報原稿依頼	・3/15号広報掲載
その他行事等						・2/15頃行政総務課に報告書提出	・2/15頃HP等で公表

令和元年8月分の寄付受納について

寄付受納したので、次のとおり報告します。

<工事>

受入先	工事名	数量	金額	寄付者
第二小学校	教育用無線アクセ スポイント設置及 びLAN配線拡張 工事	一式	281,016 円	第二小学校PTA (会長 松永 孝廣)
湯日小学校	島田市立湯日小学 校体育館屋根軒 先、樋修繕工事	一式	1,058,400 円	一般社団法人 谷田川報徳社 (理事長 榛葉正信)
計			1,339,416 円	

令和元年8月分の生徒指導について

令和元年8月分の生徒指導について、別紙のとおり報告します。

明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会の開催について

飲酒・暴走運転、暴力追放、防犯まちづくり運動と青少年健全育成運動を協働で推進するため、下記の内容で大会を開催するので、報告します。

- 目 的 「笑顔あふれる 安心のまち 島田」を実現するための基本である、市民が安全・安心に暮らせるまちを目指すとともに、市の将来を担う青少年の健全育成を推進することを目的として開催する。
- 主 催 島田市交通安全対策協議会、島田市防犯まちづくり暴力追放推進協議会、島田市青少年問題協議会、島田市青少年育成支援センター運営協議会、島田警察署、島田市、島田市教育委員会
- 開催日時 令和元年11月16日(土) 13:30～16:00 (開場 12:45)
- 会 場 島田市民総合施設 プラザおおるりホール (島田市中央町5-1)
- 大会次第
- 1 開会式 (担当:生活安心課) 13:30
 - ・開会のことば (教育長)
 - ・市歌斉唱
 - ・主催者あいさつ (市長・島田警察署長)
 - ・来賓祝辞
 - ・来賓紹介
 - ・メッセージ披露
 - 2 第一部:飲酒・暴走運転、暴力追放、防犯まちづくりの部 (担当:生活安心課) 13:55
 - ・交通事故犠牲者に対する黙祷
 - ・飲酒・暴走運転根絶宣言
 - ・暴力追放、銃器根絶、防犯まちづくり宣言
 - 3 第二部:青少年健全育成の部 (担当:青少年育成支援センター運営協議会) 14:10
 - ・青少年育成支援センター運営協議会表彰
 - ・青少年メッセージ

- 4 第三部：記念講演（担当：生活安心課） 14:40～15:50
演題：（仮）被害者遺族が求める支援
～闇サイト殺人事件の被害者遺族となって～
講師：磯谷^{いそがい} 富美子^{ふみこ} 氏（殺人事件被害者遺族）

- 5 閉会式（担当：社会教育課） 15:55
・大会決議（青少年育成支援センター運営協議会会長）
・閉会のことば（市議会議長）

事務局

島田市地域生活部生活安心課交通防犯係
島田市教育委員会社会教育課 青少年係

島田市芸術文化奨励賞交付要綱の一部改正について

島田市芸術文化奨励賞交付要綱の一部改正について、次のとおり報告します。

